

HYTTER
LODGE & CABINS



ヒュッター ハンドブック

HYTTER HANDBOOK

ようこそHYTTERへ！

自然のとなり。

HYTTER LODGE & CABINS (ヒュッター ロッジ アンド キャビンズ)は、

八ヶ岳の麓、標高1,250mの蓼科湖畔にあります。

灌漑用に開拓された蓼科湖の周り、

木立の向こうに悠々と広がる八ヶ岳を背に、白樺ともみの木が広がり、

短い夏は涼しく、冬は凍るような寒さとなります。

決して大自然ではないけど、普段の生活よりも自然に近い場所です。

わたしたちはこの場所を、“自然のとなり”

というイメージでつくりました。

HYTTERに滞在することで自然の中で過ごす楽しみをみつけたり、

少しづつ自然との距離を縮めることができる。

何度も訪れるうちに、テントをもって出かけることが好きになり、

八ヶ岳に登ったり、零下の中でサウナを楽しんだり、

そんなことが当たり前になってくる場所です。

あなたもHYTTERに、なりにきませんか？



大切にしていること
ヒュッターが

[DESIGN]

引き算のデザイン

[ART]

ここにしかない驚き

[LOCALISM]

地域とともに

[SUSTAINABILITY]

地球にも体にも優しく

[WILDERNESS]

生きる力

[COMMUNICATION]

共感しあう

[BECOME HYTTER!]

自然を遊び尽くす



A



B

[DESIGN]

引き算のデザイン



HYTTER LODGE & CABINSは、

築三十数年の「水明閣」という温泉旅館とキャンプ場を引き継いで、

2018年7月にオープンしました。

HYTTERを運営する私たち株式会社キャンプサイトは、もともと都内でリノベーションに特化した設計会社として建物の再生に取り組んできました。

このHYTTERでもリノベーションにあたっては自社で設計をし、

壊して新しくするのではなく、古き良き味わいを生かしながら、

自然や建物のもつ本質的に良いところを引き出すような工夫をしています。

また、建物だけでなく備品なども、近くの大学の寮や、閉館したペンションから不要なものを頂いてきて、直して、磨いて使っているものが多くあります。

古い設備は、急に止まったり、壊れたり、日々メンテナンスが必要です。

古いから、足りないから新しく買うのではなく、手はかかるけれど、

工夫しながらできることを考える。何かを加えるばかりでなく、

あえて引き算をすることで見えてくるものもあるはずです。

A 純温泉旅館の風情を漂わせる水明閣時代のロビー。

B 引き算の工事の様子、カーペットを剥がし出された床をそのままに生かしたフロアデザイン、元おみやげコーナーは外して、磨いて、塗って、また元の位置に戻します。

C リノベーション前のキャビン内の水回り。気持ちよく使って頂けるように造作しなおしました。



[ART]

ここにしかない驚き



アートの創作過程はとてもわくわくするものです。

アーティストの力で空間や場の質が大きく変わっていく、

そんな瞬間をみているととても興奮します。

HYTTERは、たくさんのアーティストとのコラボレーションでできています。

LODGEのメインダイニングには

花井祐介さんに書いていただいた八ヶ岳が広がっています。

これ、じつは実際の八ヶ岳と同じ向きになっているのです。

カフェのマグカップののみの木は、持ち帰ることができる花井さんの作品です。

ぜひ手にとってご覧ください。



A ダイニングルームの壁に八ヶ岳のピークを一つ一つ描く花井祐介さん。

B HYTTERに遊びに訪れて、この場所を気に入ったからぜひなかコラボレーションしたい!
といってくれたNaomiは、スキーフリースタイルのヨーロッパトップ選手でもありました。

C 神山隆二さんのグラフィティ、メッセージは「HELLO BEAUTY」。



Sup



[LOCALISM]

地域とともに



なぜ蓼科なの？ そう聞かれことがあります。

私達が蓼科で宿泊施設を営むことになったのは、地域の皆様との縁です。

いつかキャンプ場を運営したい、という思いと、

蓼科の再生に力が必要だ、という地域の方々の思いが

つながって実現しました。

計画段階から地域の方々と一緒に

蓼科の活性について議論しながらHYTTERをつくり、

いまも日々、この地を育んで来た地域の方々に助けて頂いています。

日常の近隣清掃作業から、一体を巻き込んでのイベントまで、

これまで地域の方々が培ってきた資源を大切にしながら、

さらに多くの方に楽しんでいただける場づくりを

していきたいと思っています。

C 地元の子供会のみなさん、同じ地域でもこうした広い芝生で走り回れる場所は少ないそうです。

D 入場無料で開催したシネマキャビンは、
八ヶ岳ロープウェイに自転車をもって乗りこみ、ゲレンデを走り下るレースが人気でした。

E 入場無料で開催したシネマキャビンは、
茅野駅横にある「新星劇場」にご協力を頂きながら上映をしました。

F 近隣道路や遊歩道は、周辺住民・関係者との美化活動により維持しています。



[SUSTAINABILITY]

地球にも体にも優しく

HYTTERの食事は、長野県産の素材を中心に

塩分や化学調味料をなるべく使わない調理方法を心がけています。

同時に、ゴミを出さない調理方法も一工夫。

野菜の端っこは、捨てずに野菜出汁として使ったり、

まとめて炒めて、まかないカレーに変身させています。

施設から出すゴミも減らしていきたい、水の使用もなるべく抑えたい
繰り返し使えるバックやボトル、

日々、施設の備品や掃除の仕方を工夫すること、

スタッフ同士でアイデアを出し合いながら考えています。

環境を大切にし、自分たち自身も健康でありたい、

皆様の中でもアイデアをお持ちでしたら、ぜひ私達にお聞かせください。



A ゼロ・ウェイスト・ビストロを主宰するランティミチ・ノマドの山内シェフを定期的に招いて、
なるべく廃棄を出さない調理の仕方をスタッフ全員で学んでいます。

B 地元産のお野菜を中心としたHYTTERの朝食。スープは塩味を抑えめにしてあります。

C 売上的一部分が途上国の支援活動に寄付される、MiRのHYTTERオリジナルデザインボトル。
シリアルナンバーで自分のボトルの売上がどんな目的に活用されたのか、確認できます。

D イラストレーター竹田さんのHYTTER PLAY MAPが描かれたトートバッグ。
プラスチックバックを減らす、というだけでなく、日常で使って楽しい気持ちになれるバッグです。

[WILDERNESS]

生きる力



わたしたちがこの場所でこどもたちに伝えたいことは、
自然の中で「生きる力」をつけること。

自然の中で生きるスキルは、都会のジャングルでも
生き延びる自信につながると信じています。

KIDS CABIN CAMPをはじめとしたこども向けのワークショップは、
ナイフの使い方を覚えたり、火打石で薪に火をつけたり、
CABINを使って小屋のリノベーションをしたり、
時にはキャンプ場を飛び出してロゲイニングをしたり、
星を見ながら宇宙について考えたり、ともに学び、体験するプログラムです。

こどもたちがなにか一つでも感じてくれたら、
それは生きる力につながるのでは、そう信じています。

A キャンプ中、日に三度の食事は全て自分たちでおこした火で調理します。

B コンパスをもって地図を読む。シンプルですが、携帯の電波が届かない場所でも
目的の場所を探すことができる、一番確実な方法です。

C 星空を眺めながら、宇宙のお話をきく会。質問が次から次へ。
自分が広大な宇宙の一部であること、また生命のつながりを感じることができます。



A



B



C



D

[COMMUNICATION]

共感しあう

HYTTERには様々なお客様がいらっしゃいます。

初めて蓼科を訪れたお客様、子供の頃にきたことがあるというお客様、

HYTTERという名前につられてふっと入っていらした北欧からのお客様、

東京からオフサイトミーティングでいらっしゃった仕事仲間のお客様。

迎えるHYTTERスタッフも多様です。

自然が好き、山が好き、人と接することが好き、地元出身のスタッフもいれば

都心から移住したスタッフ、多拠点を行き来するスタッフ、

冬はスキー場で働き夏の間だけHYTTERで働くスタッフ、

数週間だけ海外から働きにきてくれるスタッフもいます。

HYTTERにはゆったりと過ごせるロビーやバーがあります。

ゲームを楽しんだり、お酒を楽しみながら

お客様同士、またスタッフに話しかけてみてください。

A 青空のもとチームビルディングをするのは、東京からやってきたIT企業のAIを研究しているチーム。

B ドイツ、チェコ、オーストラリア、様々な国からHYTTERに興味を持って仕事をしにきてくれます。

C 誠訪地域を盛り上げる目的で、様々な関係者が集まって開催された
地域創生トレーニングセンタープロジェクト。

D ナカムラケンタさんを囲んで、生き方・働き方について語った読書会。



[BECOME HYTTER!]

自然を遊び尽くす



避暑地のイメージが強い蓼科ですが、四季折々、様々な過ごし方があります。

氷点下の真冬はスキーはもちろん、氷瀑ツアー、

スノーシュートレッキングにサウナ！

寒いからといってまた来年と言わずに、極寒の中で遊びつくそう！

冷え切っても大丈夫、かけ流しの温泉が、あなたを待っています。

桜は遅いし紅葉は一足早くやってくる。

世の中の季節感にとらわれず、先入観を捨てて、

自分らしい遊び方を見つけて、HYTTERになりにきてください。



A 八ヶ岳の麓、マウンテンバイクでのツアーはアップダウンも楽しんで。

B FOREST CABINS、一日の始まりは早朝のヨガから。

C 絶景の中を駆け巡る。新しいトレ일ランニングコースを発見するのも楽しみ。

D 零下15度もなんのその、サウナは冬がシーズン。汗をかいあとはクラフトジンで乾杯！

E 1月末～2月は氷瀑が見頃。お弁当と温かいコーヒーをもって、渓谷沿いの見応えある氷景色をお楽しみください。





LAKESIDE LODGE



温泉旅館をリノベーションした LAKESIDE LODGE には、

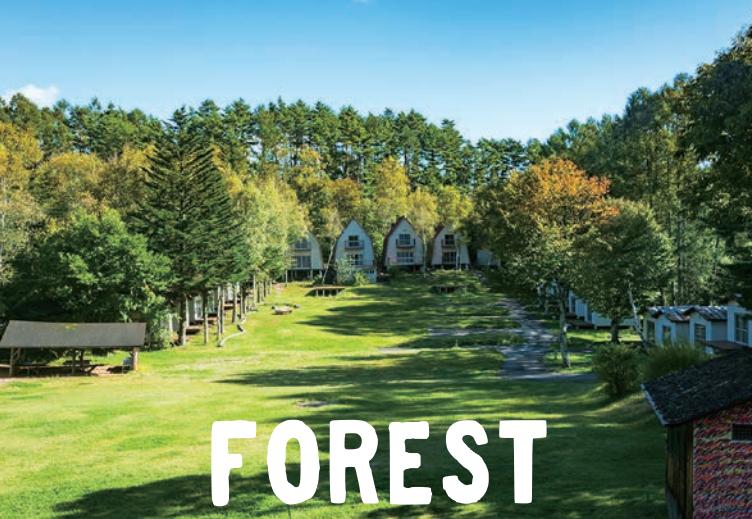
源泉かけ流しの温泉と、

温泉あがりに地元のクラフトビールを楽しむことができるBARを併設。

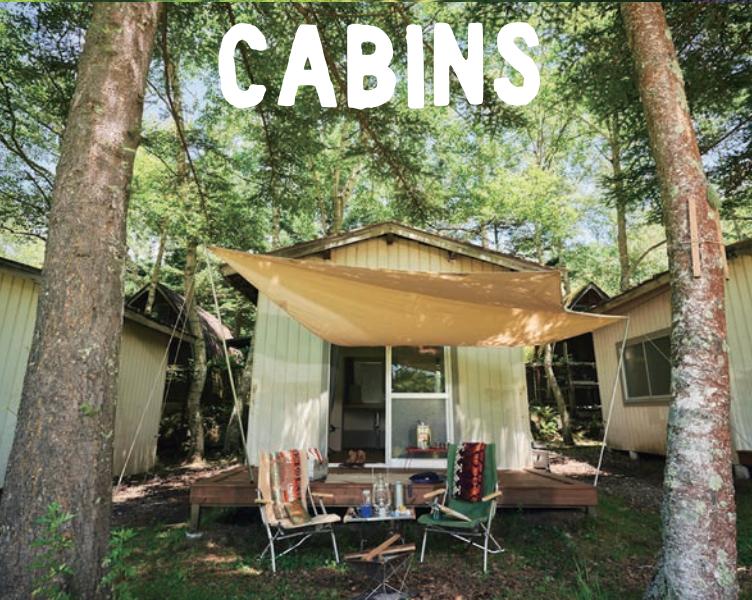
客室は和室または洋室からお選び頂けます。

ゆっくりお休みいただいた翌朝は

お野菜を中心とした朝食をお召し上がりください。



FOREST CABINS



HYTTERは、ノルウェー語で小屋を意味するHYTTE(ヒュッテ)の複数形。

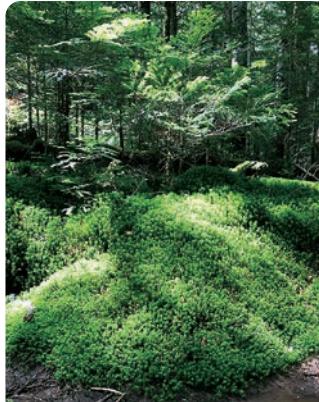
英語的な語感から、「小屋遊びする人」という意味を込めて名付けました。

FOREST CABINSは、広い芝生広場のまわりを

大小の小屋がかこむ風景が特徴となっているキャンプ場です。

夏季には手ぶらBBQ、冬季は焚き火セットでのディキャンプ。

小屋をサブスクリプションでDIYし、マイキャビンとしてもご利用頂けます。



八ヶ岳はその昔、富士山より高かったと言われています。

背比べをしたとき、八ヶ岳に負けて悔しがった富士山が怒って叩いたので、

八ヶ岳の頭が八つに割れて権現岳・西岳・阿弥陀岳・峰の松目・

編笠山・赤岳・横岳・硫黄岳になったと言われています。

HYTTERからは車で20分～40分ほどで様々な登山口へアクセス可能。

登山はもちろん、植物、動物、八ヶ岳あそびの拠点としてご利用ください。



おわりに

ボーイスカウトの少年たちは、
ロープやコンパスといった7つ道具の他に、スカウトブックという
小さなハンドブックをリュックに入れてキャンプやハイキングに出かけます。

スカウトブックには、彼らが大切にしている日々のモットー
「Be prepared」という言葉が書かれています。
日本語に訳すと「そなえよつねに」。
いつどんなことがおこっても対応できるように、常にそなえておこう！
ということでしょうか。

このヒュッターハンドブックには、スカウトブックのように、
私たちが日々大切にしていること、
お客様に感じて頂きたいことなどをまとめました。

日々の暮らしの中で、私たちは新しいことばかりに目が行き、
この地球という大きな自然のこと忘れがちです。
そんな時代だからこそ、自然のとなりにすわって、その声に耳を傾け、
普段の生活を振り返ったり、
忘れていたなにかを思い出すことができればと考えています。

Be prepared !!

IMFORMATION

TRAIN

»» 東京方面から

JR中央本線 特急あずさで約2時間
茅野駅下車

»» 名古屋方面から

JR中央本線 特急しなので塩尻まで約2時間
塩尻より中央東線新宿方面の列車に乗り換え約30分
茅野駅下車

»» JR茅野駅より

北八ヶ岳ロープウェー行き路線バス
またはタクシー、レンタカーなどで約30分

CAR

»» 中央自動車道

諏訪ICより蓼科方面へ約30分



〒391-0301 長野県茅野市北山 8606-7

TEL / 0266-78-8278

MAIL / info@hytter.jp

HP / hytter.jp

